

省エネ診断実施例

東部コミュニティセンター

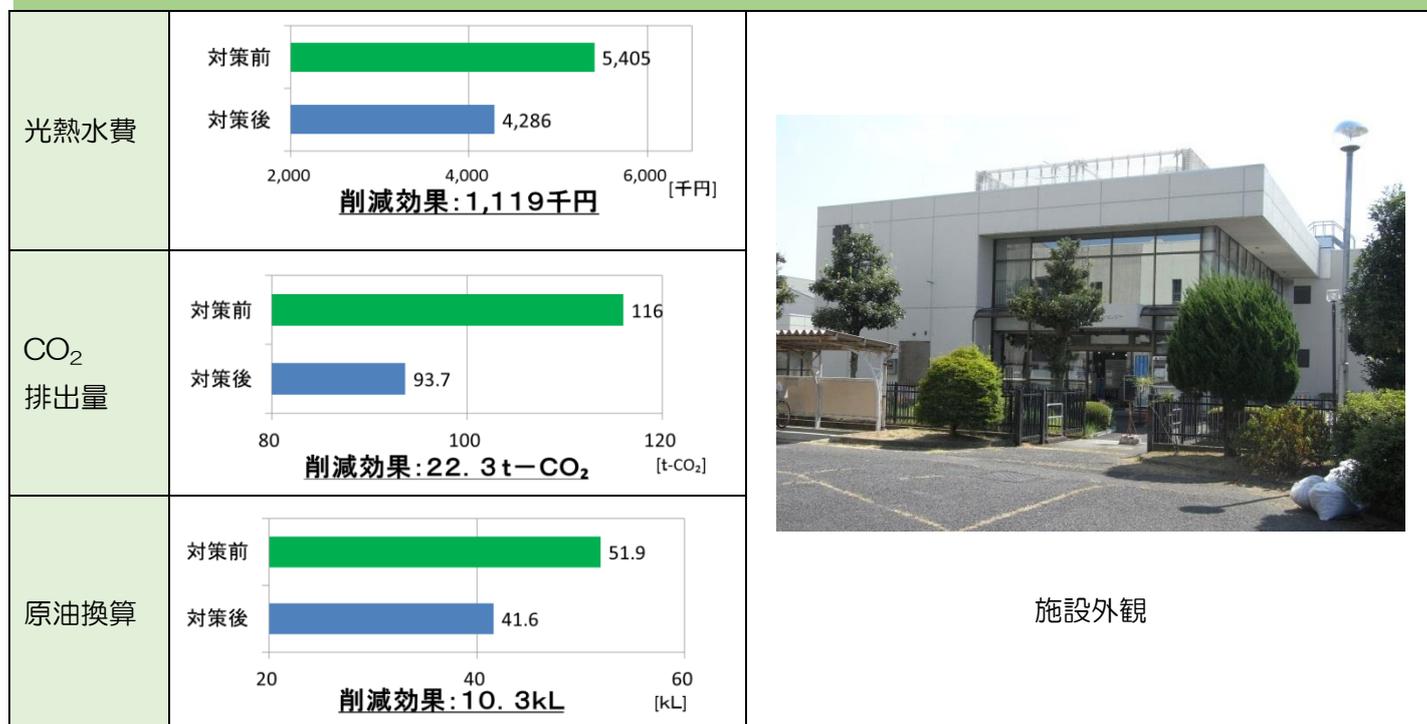
◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって年間約37千円の光熱費(CO₂排出量：1.1t-CO₂)の削減が見込まれる。
- 5年以下の投資回収期間で実施できる対策によって、年間約494千円の光熱費(CO₂排出量：7.6t-CO₂)の削減が見込まれる。

◆ 改善提案（投資不要・回収5年以下の提案）

改善提案項目	改善提案内容	削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
1.冷温水発生機の冷水温度の適正化	空調負荷の小さい中間期に冷水温度を上げることで電力の削減を図る。	37	—	—
2.エアハンドリングユニットの送風ファンのインバータ制御	ダンパで送風量を絞るのではなく、インバータを導入して風量を調整することにより電力の削減を図る。	185	500	2.7
3.誘導灯のLED化	蛍光灯型誘導灯をLED型に更新することにより省エネを図る。	88	400	4.5
4.冷温水発生機の冷温水ポンプのインバータ制御	バルブで冷温水の流量を絞るのではなく、インバータを導入して流量を調整することにより電力の削減を図る。	67	300	4.5
5.図書館の照明スイッチの窓際回路分割	窓際のための照明を消灯できるように電気回路を分割する。	35	100	2.9
6.デマンド監視装置の導入による節電、省エネ	エネルギー使用状況の見える化により、契約電力の低減と年間の使用電力の削減を図る。	82	400	4.9
	合計	494	1,700	—

◆ 削減効果の見込み



◆ 他にも適用できる施設例

- 冷温水発生機の冷水温度の最適値が未検討の施設
- 送風ファンやポンプ等の動力機器についてインバータ化の余地がある施設
- LED化の余地のある施設、照明の消灯や電気回路の分割の余地がある施設
- デマンド監視装置が未導入の施設